**小学生(低)礼拝10月②**

**みんなが待ち望んだイエス様の誕生（イエス様①）**

今日のお話は「イエス様の誕生」です。

今日はイエス様のお話しになります。イエス様は今まで登場してきた聖書のなかでも特別な人です。なぜならば、イエス様は「神様の子」だからです。「神様の子」として生まれ来るイエス様は、特別な使命を持っています。

それは、アダムとエバが、神様との約束を破ってしまったために、人間の心に入ってしまった、悪い心を、すべてなくす、という使命です。そのために、イエス様はメシヤとして、サタンと闘って勝利しなければなりません。今日はそんな、特別な使命をもった、イエス様の誕生のお話しをします。

ナザレという町にマリヤという女性がいました。マリヤはとても心の美しい人で、神様のためならどんなことでもします、という正しい心をもっていました。そして、マリヤは、ヨセフと言う人と結婚の約束をしていました。

ある時、神様の使いである、天使ガブリエルがマリヤの前に現れて「おめでとうございます。あなたは男の子を産むでしょう。その子をイエスと名づけなさい。その子は神の子であり、王様となるでしょう」と、言いました。

マリヤは驚きながらも「神様のおっしゃる通りにいたします」と、受け入れたのでした。当時は、結婚していない女性が、子女を産むことは、「死刑」になります。それでも、神様のことを愛していたマリヤは、神様の言葉を信じ受け入れました。そして、マリヤは、神様の言う通り、妊娠をしました。妊娠というのは、お母さんのお腹に赤ちゃんの命が宿ることです。

夫のヨセフは最初驚きました。自分とまだ結婚していないマリヤのおなかがどんどん大きくなっていくのです。ヨセフは最初信じることができませんでした。すると、ヨセフのもとにも天使がやってきて、ヨセフに言いました。「心配しないでマリヤを妻として迎えない。マリヤのお腹には神様の子がいます。そして名前をイエスと名付けなさい」ヨセフは神様の言葉を信じました。

マリヤは、お腹が大きくなってくると、夫のヨセフと一緒に、自分たちの生まれ故郷であるベツレヘムに帰りました。しかし、どこも宿屋はいっぱいでしたので、二人は仕方なく、馬小屋に泊まることになりました。

その夜、神様と人類が長い間準備して待ち望んだ神の子イエス様がお生まれになりました。神様はどれほど喜ばれたでしょうか。本当ならアダムとエバが神様の子供として神様と一緒に住むはずでした。

しかし、アダムとエバは神様との約束を破り、神様の下から離れていってしまったのです。

神様はどんなにさみしかったでしょうか。そして、この日、神様の子供としてイエス様が誕生したのです。

イエス様が産まれた時、いろいろなところで、奇跡が起きました。ある場所では、羊飼いたちが、夜、羊の番をしていたのですが、そこに、神様のみ使いが現われて「おそれるな。きょう、ダビデの町に神の子がお生まれになった。」と、言いました。驚いた羊飼いたちは、喜んでイエス様のもとにかけつけました。

また、東の国には、星の事を研究している三人の博士たちがいました。この博士たちは、星の動きを見てこれから起こる出来事を知ることが出来るひとたちでした。

特別に輝いている星がでたら、偉大な王さまがお生まれになるという昔からの言い伝えがあったのですが、ちょうど、イエス様がお生まれになった時に、とても大きく輝く星を見つけたのでした。

そして、その大きく輝く星は、自分たちよりも先に進み、イエス様のお生まれになった所で止まりました。博士たちはひれ伏して拝みました。そして、黄金、乳香、没薬というプレゼントをイエス様に捧げました。

イエス様が産まれた時、多くの人が喜びました。そして、イエス様が産まれた日を喜ぶことは、今でも行われています。それが、12月25日のクリスマスです。

イエス様が産まれたのは、いまから約2000年前です。2000年前に生まれた人の誕生日を、世界中の人が、クリスマスとしてお祝いをするのはなぜでしょうか。それは、イエス様が神様の子供だからです。

イエス様がお生まれになった時、どれほど神様が喜ばれたでしょうか。この時、この地上に初めて、「神様の願いを理解してくれる子ども」が生まれたのです。

これから、イエス様が誕生されてから、どのような歩みをされてきたのかを学び、私たちもイエス様のように天の父母様の誇れる子女となっていけるように頑張っていきましょう。